

2年学年だより

2014年7月8日
7月号

☆もう一学期も終わりですね！

こんにちは、谷です。今月は、私が担当させていただき
ます。二年生になってはや三カ月。体育大会や仕事体験の
取り組みなど、あつという間でしたね…いやアツという間
もないほど、振り返ってみたら早かったなあ…。

☆実にうらやましい！！

7月の9・10・11日は仕事体験です。普段の校内の
授業から離れ、実際の職場で働くことの喜び、楽しさ、厳
しさを学ぶことになります。

実にうらやましい！！先生が中学生のときは、こん
な取り組みはありませんでした…。そして、この仕事体験
をむかえるにあたって、先生たちは緊張の面持ちのなかみ
んなの真剣に取り組む顔をたくさん見てきました。例えば、
実際に体験先に電話をかける瞬間、職場に打ち合わせに行
くための面接練習の時間、実際に打ち合わせに行くために
校外に出るときなど…いつもの授業のなかで見るみんな
の顔とは少し違いました。少し大人びたというか、仕事と
いうものに始めてふれるみんなの表情には頼もしさを覚
えたほどです。

さて、先日（6/23・月）貝塚市青年会議所の協力の
もと、いろいろな業種の社長さんや、市議会議員の方に来
ていただき各クラスで聞き取りをおこないましたね。どん
な話が覚えていますか？——谷先生のクラスは、飲食店
を経営しておられる方と建築事務所の経営をしておられ
る方から話を聞きました。

飲食店を経営しておられる方は、人生を登山に例えて、
「遠くの山は、小さく見える。しかし、いざその
山に近づくとその山の大きさやその山を越えられ
ないことに、挫折感を覚えてしまう。だから、人
はまず自分の実力や相手の実力を知り、どうすれ
ばいいのか対策をたてなければならない」と教えて
くれました。まさに今のみんなにぴったりのメッセー
ジだと思います。受験というものに対しイメージがないみ
んなには、まだまだ先の出来事だし大丈夫だろうと思っ
ていることでしょう。しかし、時間は必ず過ぎていき、みんな
は必ず受験というデカイ山にぶち当たります。でも、それ
に対してキチンと準備をしているのか、していないのかが
結果に対し大きく左右されることになる。だからきちんと
自分の実力（学力）や相手（志望校）の実力（必要点数）
を知り、勉強を積み重ねることが必要なのだと教えてくれ
たのではないのでしょうか。

もう一人の建築事務所を経営しておられる方は、建設現
場に例えて、「家を建てるという仕事も、設計担当、

足場担当、左官（壁をぬる仕事の人）、木材担当な
どたくさんの役割分担があって、どれひとつ欠け
ても家は建たない。だから自分ができることをも
ちよることで社会がなりたっている」と教えてくれ
ました。クラスも同じではないでしょうか？社会が得意な
子、数学が得意な子、体育が得意な子、美術が得意な子な
ど、色々な特性をもった仲間がいます。お互いを認め合っ
て、一つのクラスという空間を作り上げていくという意味
では仕事の現場も、学校のクラスも変わらないんだと思
います。

しかし、今のみなさんはどうでしょう？自分勝手に過ぎ
ていませんか？周りに迷惑をかけていませんか？クラス
を離れ勝手な集団を作って好き勝手やっていませんか？
——そんなみなさんが、社会に出て上手く人間関係を作
り上げ、仕事という一つの目的に向かって働くというこ
とが忍耐強くできていけるのか！！すごく心配ですし、今は
危機感しかありません。

☆これを機会に…

この仕事体験という貝塚二中で20年も続く素晴らしい
取り組みを機会に頑張ることを真剣に考えませんか。だ
って考えてみて！みんなは将来に対して無限の可能性が
あって、どんな職業にも就けるんやで！→教師になる子も
おるかもしれない、政治家になって日本を変える人物にな
る子もおるかもしれない、宇宙飛行士とか、何かの研究者
とか、医者とか、弁護士とか、何かの経営者とか、今か
らの頑張りでのみんなの未来は限りなく広がっている。本
当に素敵なことだと先生は思うし、正直うらやましい。（戻る
なら戻りたい！もちろん教師という職業に就いたことに後悔はないよ！）

☆最後に

つらつらと勝手気ままに書かせていただきましたが、ホ
ンマにこの仕事体験をみんなで成功させよう！

体験先の方々は、忙しいなか君たちのために3日間も時
間を作ってくれるわけやし！！

そして、何よりこの体験を通して、働いてきみたちを育
ててくださっているお家の方への感謝を考えるきっかけになること
を切にねがいます。

